

AED操作など 救急救命を学ぶ

田原・成章高

田原市の成章高校で十八日、各クラスの保健委員や運動部の代表ら約八



十人の生徒が、循環器系医療機関の豊橋ハートセンター(豊橋市大山町)の職員から救急時の応急手当ての仕方を学んだ。写真。

生徒はまず人形を使って人工呼吸や心臓マッサージを練習。

「胸の真ん中に両手を組んで置いて」と助言を受け、真剣な表情で取り組んだ。

保健室に一台が設置されているAED(自動体外式除細動器)の操作に

も挑戦。練習用の装置の音声ガイドに従い、手際よく作動させた。一年生の渡辺敬介君(こ)は「難しいけど、部活などの際には必要になることもある。大切な練習」と話していた。